

令和 5年 3月「月 報」

1 はじめに

政府は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを、5月8日からインフルエンザと同等の「5類」に引き下げる方針を決定し、新型コロナウイルス感染症対策でのマスク着用ルールを3月13日に緩和すると決めました。屋内外を問わず、着用するかどうかは個人の判断に委ねることになります。入学式・卒業式については、感染予防対策を講じたうえで、原則としてマスクは必要ないとされています。

基準の線引きは難しいものの、どこかで線を引かねばならず、悩ましいところです。

令和20年に高校に入学した子供たちの中には、卒業前になってようやくマスクを外した友人と触れ合う時間を持てる人が多いことと思います。まだ油断してはなりません、大切な友人の顔を心に焼き付ける機会が生まれることでしょう。

そして、そういった人たちが新たに入隊・入校してくるのがこの春です。

是非、各地の入隊・入校者激励会では、新しく入隊・入校する若者を激励するとともに、ご家族を安心させていただきたいものです。

新たな国家安全保障戦略などの三文書で取り上げられている家族支援の充実のためには会員の獲得による会勢の充実が大切です。力を合わせて頑張りましょう。

2 防衛省・自衛隊の活動（統幕、各自衛隊等 HP より）

(1) トルコに医療器材を輸送

2月6日にトルコ南東部を震源とする大規模な地震が発生し、甚大な被害が出ました。自衛隊は、航空自衛隊B-777特別輸送機×1機で国際緊急援助活動に必要な機材等を輸送しました。



2/13 千歳出発



2/13 機材積載（羽田）



2/17 千歳帰還



2/14 トルコ到着

(2) 北朝鮮のミサイル発射

2月18日17時21分頃、北朝鮮が平壤近郊からI C B M級弾道ミサイルを1発、東方向に発射したことを受け、防衛省・自衛隊は、航空自衛隊第2航空団所属のF-15、航空救難団所属のU-125A及び海上自衛隊第2航空群所属のP-3Cを発進させ、被害情報の収集を行いました。その際、F-15は、今般発射された弾道ミサイルに関連していると推定されるものを空中で確認しました。



(3) 石垣駐屯地開設

3月中旬頃、石垣駐屯地（仮称）が開設され、警備部隊、高射部隊及び地対艦ミサイル部隊等（約570名）が配置される予定です。



中距離
多目的誘導弾



81mm
迫撃砲



O3式中距離地対空誘導弾



12式地対艦誘導弾

(4) 日米共同訓練

2月5日、海上自衛隊は日米同盟の抑止力・対処力を強化すべく、南シナ海において日米共同訓練を実施しました。

米海軍沿海域戦闘艦「チャールストン」→
海上自衛隊護衛艦「まきなみ」→



3 家族会の活動

(1) 第36回那覇マラソンで給水支援（令和4年12月4日）

沖縄県自衛隊家族会糸満市家族会（伊敷会長）、豊見



城市家族会（比屋根会長）がそれぞれ、27km地点、36km地点付近に給水ポイントを設置し「頑張れ日本・自衛隊」の横断幕を掲げて給水し、参加者を応援しました。



(2) 横須賀基地研修 (令和4年12月11日)

神奈川県自衛隊家族会 (小松会長) は、海上自衛隊第2潜水隊 (横須賀基地) を研修しました。



(3) 伊丹駐屯地「二十歳のつどい」で 隊員を激励 (1月13日)

伊丹自衛隊家族会 (高木会長) は、伊丹駐屯地で開催された「二十歳のつどい」に招かれ、対象となる68名に対し、祝辞、記念品に自衛隊家族会の活動内容紹介と入会勧誘説明を添えて激励しました。

(4) 空自松島基地研修 (1月27日)

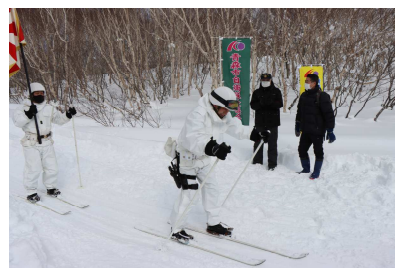
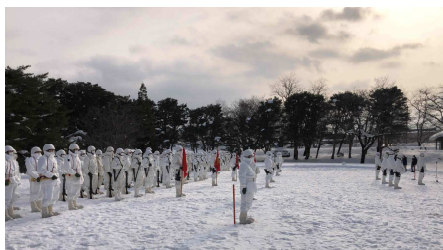


大田原市自衛隊家族会 (栃木県) は、航空自衛隊松島基地を研修しました。松島基地には格納庫の入り口等 至る所に東日本大震災時の津波の高さを示すラインが表示されており、20名の参加者は災害の恐ろしさを再認識しました。また、昨年開催された栃木国体の開会式で雄姿を見せたブルーインパルスを間近に見て感動する一幕もありました。

お世話下さった自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所の皆様、有難うございました。

(5) 八甲田演習を激励 (2月7日～9日)

青森県家族会 (野呂会長)、青森市家族会 (成田会長) は第5普通科連隊 (青森市、連隊長降旗1陸佐) が実施した八甲田演習を激励しました。旧帝国陸軍歩兵第5聯隊の伝統を受け継ぎ、練武の場を極寒の八甲田に求めて54回を数える今年の演習には578名 (うち、女性隊員12名) が参加したとのこと。



(6) 北方領土返還要求運動全国大会（2月7日）

令和5年北方領土返還要求運動全国大会が、
2月7日（火）11:30～12:40の間、
国立劇場（千代田区）にて開催されました。

当日は、岸田総理大臣、林外務大臣の挨拶後、

「署名活動の現場から」で本会の荒木理事が
演壇より、皆様のご苦勞に支えられる署名活動

の現況を伝えるとともに、今後も共に頑張りましょうとの力強い発言がありました。

当日会場に足を運ばれた皆様、配信された動画を観覧された皆様、共に有難うございました。



(7) 北海道地域協議会開催（2月11日）

2月11日、千歳市内のホテルで北海道地域協議会が開催されました。

協議会では、北部方面総監部募集課長を交え、家族会の魅力化施策や特性に応じた隊員募集への協力施策が話し合われました。

家族支援協力における安否確認のメリットをPRすることや、情報を得るために、入隊説明会等で工夫することについて、活発に意見が交換されました。



本部から出席の田浦北海道地域担当委員
←日川新会長を核心に一致団結
和気藹々の協議会



(8) 入隊入校予定者等激励会

ア 糸満市で自衛隊採用予定者激励会（3月4日）

自衛隊沖縄地方協力本部と沖縄県自衛隊家族会共催の採用予定者激励会が、糸満市「くるる会館」で行われました。

採用予定者211名のうち、約80名と、そのご家族が参加する中、沖縄県家族会古門会長が挨拶し、採用予定者を激励しました。

激励会終了後、各地区家族会会長が壇上に集合し、会長紹介の後、各地区家族会ブースを作り、それぞれのブースで会員募集の説明を実施しました。



挨拶する古門会長 →



イ 伊丹市、宝塚市、三田市、丹波篠山市、丹波市合同激励会（3月4日）

伊丹市スワンホールで入隊入校予定者合同激励会が開催され、伊丹自衛隊家族会は主催協力団体の一つとして出席しました。



激励会第一部の式典では、藤原 伊丹市長、第3師団副詞団長兼千僧駐屯地司令 前島陸将補、自衛隊兵庫地方協力本部長 高岡 1 等陸佐、国会議員の方々が入隊入校予定者に祝辞を手向けられ、また、浜田防衛大臣とKOBELCO ラグビーチーム選手代表 3 名からのビデオメッセージが紹介されました。

数々のお祝いに対して入隊入校予定者は一人一人が一言ずつ期待と不安の中での抱負を述べて応えました。

式典後の第二部は、陸上自衛隊第3音楽隊が今井 1 等陸尉はじめ大編成の演奏で入隊入校予定者を激励しました。

家族会は、当日出席の入隊入校予定者 38 名、内伊丹市在住 10 家族に対し、式典開始前の約 1 時間で家族会の役割や活動の説明と入会案内をさせて頂きました。



また、式典の中で、兵庫地本高岡本部長からのご祝辞で「フォローアップの家族会にぜひご入会をお願いします。」というお言葉もあり、私達伊丹家族会メンバーも改めて身が引き締まる思いがしました。

4 事務局からの連絡・お願い

- (1) 2月末にはお忙しいところ令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算書の提出ありがとうございました。事務局では、それらを取りまとめ、3月14日の理事会での審議を経て、内閣府に報告することとなります。
- (2) 4月に統一地方選挙が行われます。よりよい未来のために投票に行きましょう！投票日に、招かれた自衛隊記念行事等、大事な要件がある場合、期日前投票等が活用できます。ご参考まで……。

ちなみに、選挙違反にはくれぐれもご注意下さい。

買収などとはとてもないこととして認識されやすいですが、ポスターの掲示やビラ配り、後援会への勧誘等、違反行為とみなされる可能性がある様々なことがあります。詳しくは、総務省をはじめ各自治体のホームページをご覧ください。

以上